

SPA9000 設定を使用した SPA400 の手動セットアップ

目次

[概要](#)

[SPA400 を手動で SPA9000 に登録するにはどうしますか。](#)

[関連情報](#)

[概要](#)

この記事は、Cisco Small Business 製品のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援する一連のドキュメントの 1 つです。

[Q. SPA400 を手動で SPA9000 に登録するにはどうすればいいですか。](#)

A.

SPA400 を手動で設定するには、次の手順を実行します。

- 1) SPA400 と SPA9000 の相互作用の方法を理解
- 2) SPA400 を設定
- 3) Web ベースの [Setup] ページにアクセス
- 4) 関連 SPA9000 設定で SPA400 を設定
- 5) SPA400 を登録するように SPA9000 を設定

SPA400 と SPA9000 の相互作用の方法を理解

SPA400 はアナログ回線に FXO のポートを接続することにより、SPA9000 で PSTN にアクセスできるようにします。SPA9000 には SPA400 をサービスとして認識するように設定されている特定の回線設定があり、LVS ネットワーク上の IP フォンと PSTN の間でコールの両方向のルーティングが実現されます。SPA400 は、PSTN と IP フォンの間でコールを設定および切断して、Linksys VoIP 機器とのシームレスな電話サービスを提供します。

SPA400 の設定

SPA400 と SPA9000 には、正常にインストールするには適切に設定する必要がある対応するフィールドがあります。SPA9000 Setup Wizard を使用しない場合、SPA400 は、代わりに、Web ベースのセットアップ ページを使用して設定できます。Web ベースのセットアップ ページにアクセスするには、ブラウザ アプリケーションを起動し、SPA400 の IP アドレスを入力します。デフォルトでは、SPA400 は DHCP 経由で IP アドレスを取得するように設定されています。SPA9000 Setup Wizard を実行すると、インストールを簡素化するために SPA400 の IP アドレスが自動的に検出されます。

Web ベースのセットアップ ページにアクセス

アドレスバーに SPA400 の IP アドレスを入力すると、パスワード要求ページが表示されます。デフォルトのユーザ名「Admin」を使用し、ログインするための [Password] フィールドは空白（パスワードなし）のままにします。Web ベースのセットアップページにアクセスするには、[OK] をクリックします。パスワードを使用して SPA400 にアクセスすることにより、権限のないユーザはデバイスの設定を変更できません。新しいパスワードを入力するには、[Administration] > [Management] をクリックします。

関連 SPA9000 設定で SPA400 を設定

次のセクションでは、LVS ネットワークで SPA9000 を使用して SPA400 を設定するための主な手順について説明します。この設定例では、PSTN のみにアクセスするように SPA9000 を設定するため、SPA400 は SPA9000 の回線 1 に設定されることを想定しています。ただし、VoIP サービスプロバイダーも定義する場合、SPA400 は SPA9000 設定ユーティリティの使用可能な任意の回線タブ（1～4）に設定できます。

注: すべての SPA400 メニュー項目のリストは、このガイドの巻末で確認できます。SPA400 パラメータと Web ベースの設定ユーティリティを使用した設定の詳細情報が記載されています。

SPA400 の Web ベースのセットアップページから、[Setup] をクリックし、[SPA9000 Interface] メニュー項目を選択します。

[User ID] :

[User ID] フィールドに SPA9000 のユーザ ID を入力します。ユーザ ID の設定は、SPA9000 上で回線 # の関連するフィールドに設定されているユーザ ID と一致していなければなりません。

[Discover Automatically] :

[Discover Automatically] オプション ボタンを使用すると、SPA9000 によって送信された SIP 登録パケットから SPA400 で SPA9000 の IP アドレスおよび UDP のポートを学習できます。

[Discover Automatically] :

[Discover Automatically] オプション ボタンを使用すると、SPA9000 によって送信された SIP 登録パケットから SPA400 で SPA9000 の IP アドレスおよび UDP のポートを学習できます。

[Static Address] :

静的 IP アドレスを使用して SPA400 を設定することを推奨します。SPA400 で SPA9000 からの SIP 登録要求をリッスンできるように SPA9000 の IP アドレスおよび UDP ポートを入力します。SPA9000 が DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合は、SPA9000 の IP アドレスの変更による登録失敗を回避するために [Discover automatically] オプションを選択することをお勧めします。

図 1 と図 2 は、SPA400 と SPA9000 の Web ベースのセットアップページを示します。次の設定例では、SPA400 は、SPA9000 の PSTN アクセスを許可する回線 1 サービスとして示されています。示されている 2 つの [User ID] フィールドは、各設定ユーティリティで入力した同一の「SPA9000」ユーザ ID になっています。

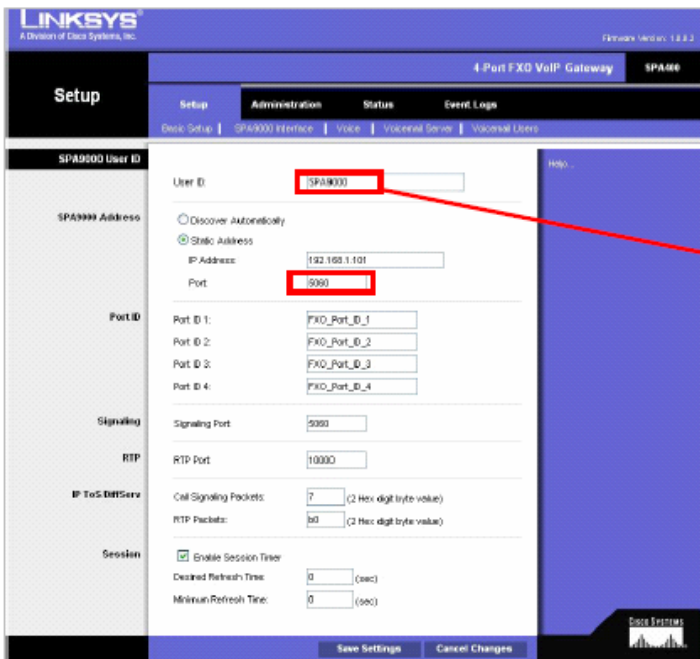


Figure 1: SPA400 Configuration Utility, Setup / SPA9000 Interface Page

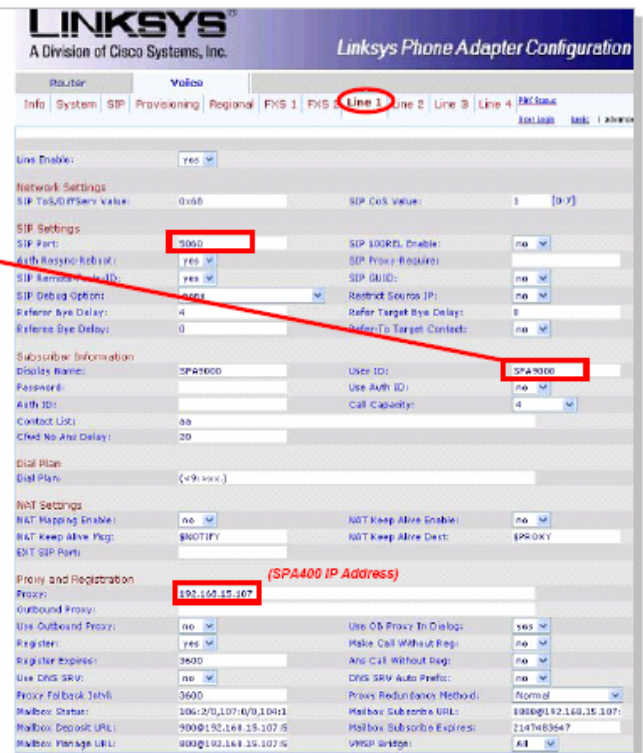


Figure 2: SPA9000 Configuration Utility, Voice / Line 1 Page

ページの下部にある [Save Settings] をクリックしてから SPA400 の Web ベースのセットアップページにある [Restart] をクリックします。SPA400 デバイスがリブートします。SPA400 を設定した後、SPA9000 の設定を続行します。手順については、次のセクションの手順を実行します。

SPA400 を登録するように SPA9000 を設定

SPA400 のインストールを完了するために SPA9000 で設定する必要がある設定項目が 3 つあります。SPA9000 設定ユーティリティから適切な [Line] タブを選択します (図 2 の例では [Line 1] を使用)。この設定ページで、次のフィールドは SPA400 設定で入力した設定に一致する必要があります。

SIP の設定 : [SIP Port] = 5060 (SPA400 ポート)
 加入者情報 : [User ID] = SPA9000 (SPA400 ユーザ ID)
 プロキシおよび登録 : [Proxy] = 192.168.15.107 (SPA400 IP アドレス)

[Submit All Changes] をクリックします。SPA9000 が再起動します。つまり、これで PSTN にアクセスするように SPA9000 が設定され、SPA400 に接続されたアナログ回線との間でコールをルーティングできます。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)